



大本山總持寺 太祖堂で總持寺参拝記念撮影 (10/1)

大施餓鬼會法要

午後1時から法話、2時から法要
田上老師 法話「なぜ『南無阿弥
陀仏』と稱えるのでしよう?」
大施餓鬼会法要
渡邊老師の教説は、お釈迦様の4
長の波田野章氏、副住職の安本由道氏
子氏がそれぞれ挨拶され、統いて安本
住職様のご挨拶、近況報告、そして副
長の波田野章氏、副住職の安本由道氏
ら大本山總持寺参拝など、今後の行事
について説明がありました。

法 話では宮城県照源寺・三宅大哲師、新潟県吉蔵寺・大澤香有師、北海道天端寺日比博英師による梅^{うめ}花流^{はなりゅう}詠讀歌^{ぎやくか}「三宝御^ご和讃^{わさん}」のお唱えが行われました。お釈迦様^様・両祖様^様を讃^{さん}え、ご先祖様^様を敬う心を唱える歌のメロディーはどこか懐かしく、心に響きます。歌の上手下手ではなくそこに道心があることが大切で、心を込めてお唱えましょう、との説明があり、参拜者全員でお唱えする声が境内に心地よく響きわたりました。

また、「人生は一度しかないといいま
すが、本当に昨日は返ってこない、常に
移り変わっていく社会の中で私達は生き
ています。一度しかない人生をどう生き
るか、お釈迦様の4つの教え（四^{よん}根法^{こんぽう}）
胸にとどめて生活していただけたら、
自分だけでなく他人との
幸福な時間が共有できる
幸運^{こううん}な時間^{じかん}が共有でき
る」というお言葉^{ごげつ}があり
ました。

2時からは秋彼岸法要^{がいげん}が執り行われました。



山

大本山總持寺に捐て参拝 日帰りバス研修視察に70名参加

これまで副職業をお務めさせていたが、年齢とともに体調不良を伴い辞任することになりました。今まで檀信徒の皆様には一方ならぬご支

ご檀信徒様の
ご支援に感謝

援を賜りましたこと、深く感謝し厚く御礼申し上げます。

法燈を守り
益々精進を

力を自分自身なりに務めさせていたたぐ
所存です。さらに萬福寺に関わる皆様の
声の一つ一つに耳を傾け大切に取り組ん
で、住職の教えの中、先住太準大和尚か

法灯を守り
益々精進を

18 歳にて上京し駒沢大学へ進学、そして永平寺修行後、引き続き当山に務め27年余りが経ちました。山内はじめ護持会役員檀信徒の皆様、これまでに関わるすべての皆様方に生かされ、多大なるご指導ご支援を賜りまして一言御礼併せて申上げます。

ながら誠心誠意をもつて益々の精進をしていかなければなりません。

また皆様におかれましても、今までと変わらぬお付き合いと気軽にお茶を飲みながらのお話し合いにご来山いただき、お互い感応でできれば幸いです。その際にもご指導ご鞭撻ご法愛を賜りたくお願い申し上げます。



木本山總持寺 接具の間（上段の間）



大本山總持寺 大里様



中野幹也 沖田利子 藤原千鶴



横浜中華街・菜香で